

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 中国財務局長

【提出日】 平成29年8月10日

【四半期会計期間】 第68期第1四半期(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

【会社名】 中国工業株式会社

【英訳名】 CHUGOKUKOGYO CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 野村 實也

【本店の所在の場所】 広島市中区小町2番26号  
( 上記は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記の場所で行っておりま  
す。 )

【電話番号】

【事務連絡者氏名】

【最寄りの連絡場所】 広島県呉市広名田一丁目3番1号

【電話番号】 0823-72-1322

【事務連絡者氏名】 常務執行役員 経営管理部長 小田 和守

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第67期 第1四半期 連結累計期間	第68期 第1四半期 連結累計期間	第67期
会計期間	自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日	自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
売上高 (千円)	2,578,700	2,655,885	12,604,937
経常利益又は経常損失( ) (千円)	36,052	24,435	322,522
親会社株主に帰属する四半期純 損失( )又は親会社株主に帰属 する当期純利益 (千円)	43,612	31,440	296,242
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	145,211	17,970	505,740
純資産額 (千円)	3,793,769	4,479,329	4,497,571
総資産額 (千円)	10,676,269	11,059,029	11,006,201
1株当たり四半期純損失金額( ) 又は1株当たり当期純利益金額 (円)	12.88	9.28	87.46
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	33.05	37.35	37.72

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式がないため記載しておりません。潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善が引き続き安定して推移し、個人消費も持ち直しの兆しがあるものの、原材料価格の高騰や自然災害・地政学リスクの高まり等、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

一方、当社グループを取り巻くガス事業分野のエネルギー関連においては、電力や都市ガスの小売り自由化やエネルギー供給源の多様化の環境下にあつて、競争激化が続いております。

このような経済情勢のなか、当社グループは引続き受注の拡大に努め、売上高は高圧機器事業は減収となりましたものの、施設機器事業、鉄構機器事業及び運送事業は増収となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は26億55百万円（前年同期比77百万円の増収）となり、営業損失は34百万円（同9百万円の赤字縮小）、経常損失は24百万円（同11百万円の赤字縮小）、親会社株主に帰属する四半期純損失は31百万円（同12百万円の赤字縮小）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### 高圧機器事業

主力製品であるLPガス容器の販売数量が減少したことにより、事業全体の売上高は15億2百万円となり、前年同期を31百万円(2.0%)下回りました。また、セグメント利益(営業利益)は、売上高の減少により、前年同期を42百万円下回る26百万円となりました。

#### 鉄構機器事業

高炉用インナーカバーの受注増加により、事業全体の売上高は1億3百万円となり、前年同期を6百万円(7.0%)上回りました。また、セグメント損益(営業損益)は、前年同期1百万円の赤字から14百万円の黒字となりました。

#### 施設機器事業

畜産分野の主力製品である飼料タンクの販売数量が増加したことにより、事業全体の売上高は3億93百万円となり、前年同期を86百万円(28.2%)上回りました。また、セグメント利益(営業利益)は、売上高の増加により、前年同期を26百万円上回る27百万円となりました。

#### 運送事業

国内貨物輸送量が増加したことにより、事業全体の売上高は6億55百万円となり、前年同期を15百万円(2.4%)上回りました。また、セグメント損益(営業損益)は、売上高の増加により、前年同期10百万円の赤字から4百万円の黒字となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の資産は、受取手形及び売掛金が5億12百万円減少しましたが、現金及び預金が2億82百万円、仕掛品が1億49百万円、投資有価証券が時価の上昇により69百万円及び流動資産のその他が52百万円それぞれ増加した結果、資産合計は前連結会計年度末と比較して52百万円(0.5%)増加し、110億59百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が1億17百万円、短期借入金が1億92百万円それぞれ減少しましたが、未払費用が1億76百万円、前受金が2億53百万円それぞれ増加した結果、負債合計は前連結会計年度末と比較して71百万円(1.1%)増加し、65億79百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が44百万円増加しましたが、利益剰余金が65百万円減少した結果、純資産合計は前連結会計年度末と比較して18百万円(0.4%)減少し、44億79百万円となりました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は18百万円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成29年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成29年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,420,000	3,420,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は 100株であります。
計	3,420,000	3,420,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年6月30日		3,420,000		1,710,000		329,299

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成29年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成29年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 4,500		
	(相互保有株式) 普通株式 59,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,345,900	33,459	
単元未満株式	普通株式 10,600		1単元未満の株式
発行済株式総数	3,420,000		
総株主の議決権		33,459	

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が100株(議決権1個)含まれています。
- 2 「単元未満株式」欄の普通株式には、中鋼運輸株式会社所有の相互保有株式84株及び当社所有の自己株式21株が含まれています。

【自己株式等】

平成29年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 中国工業株式会社	広島市中区小町2-26	4,500		4,500	0.13
(相互保有株式) 中鋼運輸株式会社	広島県呉市広町田2-7-41	59,000		59,000	1.72
計		63,500		63,500	1.85

- (注) 株主名簿上は中鋼運輸株式会社の名義となっておりますが、実質的に同社が所有していない株式が1,100株あります。なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式に含めています。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	758,110	1,040,183
受取手形及び売掛金	3,404,058	2,891,814
電子記録債権	251,746	228,684
製品	217,729	200,463
仕掛品	525,186	674,490
原材料及び貯蔵品	211,504	253,907
繰延税金資産	101,880	120,809
その他	115,714	168,678
貸倒引当金	1,582	1,696
流動資産合計	5,584,347	5,577,335
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	543,750	533,927
機械装置及び運搬具（純額）	518,572	492,741
土地	2,503,421	2,503,421
リース資産（純額）	99,337	89,017
建設仮勘定	58,401	66,808
その他（純額）	20,776	21,532
有形固定資産合計	3,744,260	3,707,448
無形固定資産	45,333	44,484
投資その他の資産		
投資有価証券	1,543,823	1,613,527
退職給付に係る資産	7,095	13,431
その他	129,264	152,318
貸倒引当金	47,922	49,516
投資その他の資産合計	1,632,260	1,729,759
固定資産合計	5,421,853	5,481,693
資産合計	11,006,201	11,059,029



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,350,747	1,233,601
電子記録債務	787,462	845,262
短期借入金	1,331,806	1,139,726
リース債務	53,468	53,691
未払金	173,597	122,856
未払費用	95,095	271,592
未払法人税等	28,071	23,280
未払消費税等	26,121	37,981
前受金	83,271	336,417
賞与引当金	135,308	48,987
役員賞与引当金	12,000	3,000
その他	39,831	44,280
流動負債合計	4,116,782	4,160,678
固定負債		
長期借入金	812,862	828,761
リース債務	73,914	60,407
繰延税金負債	261,881	284,242
役員退職慰労引当金	75,684	74,709
退職給付に係る負債	1,143,437	1,147,689
その他	24,067	23,211
固定負債合計	2,391,847	2,419,021
負債合計	6,508,629	6,579,700
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,710,000	1,710,000
資本剰余金	329,347	329,347
利益剰余金	1,655,253	1,590,249
自己株式	81,196	81,229
株主資本合計	3,613,404	3,548,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	537,919	581,987
その他の包括利益累計額合計	537,919	581,987
非支配株主持分	346,247	348,973
純資産合計	4,497,571	4,479,329
負債純資産合計	11,006,201	11,059,029

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,578,700	2,655,885
売上原価	2,040,166	2,109,746
売上総利益	538,534	546,138
販売費及び一般管理費	581,943	580,198
営業損失( )	43,409	34,060
営業外収益		
受取利息	239	235
受取配当金	2,692	4,249
協賛金収入	3,469	3,289
受取補償金		3,464
その他	7,399	3,916
営業外収益合計	13,800	15,155
営業外費用		
支払利息	4,063	3,239
その他	2,381	2,290
営業外費用合計	6,444	5,530
経常損失( )	36,052	24,435
特別利益		
固定資産売却益	2,574	967
特別利益合計	2,574	967
特別損失		
固定資産除売却損	987	465
特別損失合計	987	465
税金等調整前四半期純損失( )	34,466	23,932
法人税、住民税及び事業税	6,017	22,581
法人税等調整額	9,162	17,570
法人税等合計	15,180	5,010
四半期純損失( )	49,646	28,943
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失( )	6,033	2,496
親会社株主に帰属する四半期純損失( )	43,612	31,440

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失( )	49,646	28,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95,564	46,914
その他の包括利益合計	95,564	46,914
四半期包括利益	145,211	17,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	131,297	12,627
非支配株主に係る四半期包括利益	13,913	5,342

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
受取手形割引高	37,643千円	29,823千円
受取手形裏書譲渡高	34,176	18,281

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
減価償却費	48,331千円	57,491千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月24日 取締役会	普通株式	33,565	10	平成28年3月31日	平成28年6月13日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年5月24日 取締役会	普通株式	33,563	10	平成29年3月31日	平成29年6月12日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	高压機器 事業	鉄構機器 事業	施設機器 事業	運送事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,533,643	97,201	307,029	640,825	2,578,700		2,578,700
セグメント間の内部売上高 又は振替高	272			141,071	141,343	141,343	
計	1,533,916	97,201	307,029	781,897	2,720,044	141,343	2,578,700
セグメント利益又は損失( )	68,745	1,841	1,160	10,335	57,729	101,138	43,409

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額 101,138千円には、セグメント間取引消去336千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 101,475千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない、経営管理部、総務部等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント名称の変更)

前連結会計年度において、鉄構輸送機事業における搬送機器事業を譲渡したことに伴い、報告セグメントの名称を、「鉄構輸送機事業」から「鉄構機器事業」へ名称変更しております。なお、当該変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	高压機器 事業	鉄構機器 事業	施設機器 事業	運送事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,502,417	103,989	393,541	655,936	2,655,885		2,655,885
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,139			135,594	139,733	139,733	
計	1,506,556	103,989	393,541	791,531	2,795,618	139,733	2,655,885
セグメント利益又は損失( )	26,099	14,145	27,216	4,978	72,439	106,500	34,060

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額 106,500千円には、セグメント間取引消去287千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 106,787千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない、経営管理部、総務部等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額( )	12円88銭	9円28銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純損失金額( )(千円)	43,612	31,440
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失金額( )(千円)	43,612	31,440
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,387	3,387

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

平成29年5月24日開催の取締役会において、平成29年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	33,563千円
1株当たりの金額	10円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成29年6月12日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年8月9日

中国工業株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中	原	晃	生	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	下	平	雅	和	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている中国工業株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、中国工業株式会社及び連結子会社の平成29年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。